

平成30年度（国語）教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △）（講師：*）

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
1年	国語総合 (現代文)	◎	4	4	16	河田 良子
	(古文・漢文)		(2)		(8)	
2年	現代文B	◎	2	4	8	宮川 康
	古典B	◎	2	4	8	松岡 礼子
3年	国語探究 (現代文)	◎	2	4	8	田中 寛子
	(古典)		(1)		(4)	
	古典A	△	2	2	4	松岡 礼子
	古典B	△	2	2	4	河田 良子
						田中 寛子
						金藤 行雄*

（2）指導計画表

科目名：国語総合（現代文）	学年：1年	単位：2	担当者名：河田 良子
<p>1. 指導目標</p> <p>多様な文章を読むことを通じて、実社会に存在するさまざまな問題に対する高い見識を身につけるとともに、豊かな感受性を養い、より良い人生を生きるための基礎的な力を高める。</p> <p>しっかりした読解力を身につけ、論理的な思考能力を養う。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができているか。</p> <p>主体的に文章から、物事を学ぶ姿勢を持っているか。</p> <p>論理的なものごとを考え、自分の考えを表現することができるか。</p> <p>3. 授業方法</p> <p>一斉授業を中心に、適宜グループワークを行う</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>定期考査を主とした総合評価</p>	<p>5. 年間計画</p> <p>< 1学期 ></p> <p>評論 「技術が道徳を代行する時」 「水の東西」</p> <p>小説 「羅生門」</p> <p>< 2学期 ></p> <p>詩 評論 「映像文化の変貌」 「メディアがつくる身体」</p> <p>小説 「城の崎にて」他</p> <p>< 3学期 ></p> <p>評論 「現代日本の開化」 「〈私〉時代のデモクラシー」</p> <p>小説 「青が消える」 「鏡」</p>		
<p>（使用教科書） 東京書籍『国語総合 現代文編』</p> <p>（副教材） 第一学習社『カラー版新国語便覧』（副教材） 他プリント教材など</p>			

科目名：国語総合（古典）	学年：高校1年	単位数：2	担当者名：宮川康
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 ○ 古典を読むために必要な語を習得するとともに、文語のきまりや訓読のきまりを理解する。 ○ 古典作品にあらわれた文化や思想、習慣などを知識として身につける。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品やその時代について、便覧や文法・句法書、関連書籍などを活用して理解を深めようとしているか。 ○ 既習の語や文語のきまり、訓読のきまり、および当時の文化や思想、習慣についての知識をもとに、文章を読み取ることができるか。 ○ 自分にとっての作品の面白さや、現代との共通点・相違点などについて、話したり、書いたりして適切に伝えることができるか。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義中心の授業と課題学習 <p>4. 評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 以下をもとに、総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題や提出物（ノート、プリント課題等） ・ 授業中の態度、参加状況 		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>古文 『宇治拾遺物語』『十訓抄』 『徒然草』『伊勢物語』 古典文法（自立語）</p> <p>漢文 訓読の基本 故事成語</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>古文 『土佐日記』『枕草子』 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 古典文法（付属語）</p> <p>漢文 寓話 唐詩 『十八史略』 句法</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>古文 『平家物語』</p> <p>漢文 『論語』『孟子』</p>	
<p>使用教科書： 東京書籍 『国語総合 古典編』</p> <p>副教材・テキスト等： 第一学習社 『カラー版 新国語便覧』 尚文出版 『これからの古典文法』 数研出版 『体系漢文』 明治書院 『音と形で覚える漢字の学習改訂版』</p>			

科目名：現代文B	学年：2年	単位：2	担当者名： 松岡礼子
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章に応じた読み方を選択する力および文章を適切に読む力を育てる。 ○ 読んだり、調べたり、議論したりすることを通して自分の考えを発展させる経験を積ませるとともに、筋道を立てて自分の考えを書き表す技術を習得させる。 ○ 自身の知的成長によって作品や文章をより深く理解しようとする姿勢を育てる。 ○ 学習の中で、「現代」という時代について、自分なりの価値観を形成できるようにする。 <p>2. 評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を適切に読み取ることができているか ・文章を読んで感じたことや考えたこと、文章に関連して調べたことがらなどを周囲と共有しようとしているか ・筋道を立てて考えを書き表すことができているか ・読みを自覚的に深めようとしているか <p>3. 指導方法</p> <p>講義を中心に授業を行うが、目的に応じて議論や他の諸活動を取り入れる</p> <p>4. 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・平常点（出席、課題、協働学習への貢献など） 		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>短編小説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」 ・村上春樹「沈黙」 ・芥川龍之介「地獄変」 <p>評論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平田オリザ「対話の精神」 ・清岡卓行「ミロのヴィーナス」 <p>< 2 学期 ></p> <p>長編小説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏目漱石「ころも」 ・カズオ・イシグロ「わたしを離さないで」 <p>映画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市川崑「夏目漱石のころも」 ・マーク・ロマネク「わたしを離さないで」 <p>< 3 学期 ></p> <p>短歌鑑賞 短歌創作 批評文作成</p>	
<p>使用教科書： 大修館書店『精選現代文B』</p> <p>副教材・テキストなど： 大修館書店『ビジュアルカラー国語便覧』、 数研出版『新しい常用漢字』等</p>			

科目名：古典B	学年：2年	単位：2	担当者名：田中寛子
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類義語、派生語、現代語とのつながり等を意識しながら、古文単語の意味を理解し、解釈に結びつける。 ・古典文法の知識を活用し、本文の解釈につなげるだけでなく、言葉を分析する力を向上させる。 ・漢文の句法の知識を身につけ、文章の構造にも注意しながら、正確な読解ができるようにする。 ・古代から近代の文化や思想に興味を持ち、現代へのつながりを意識し、人間に対する理解を深める。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語意、文法、句法、古典常識の知識を身につけ、正確な読解に結び付けられているか。 ・展開や表現の意図、特色を理解できているか。 ・身につけた知識や、理解した事柄を的確に表現できているか。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業を中心に行うが、必要に応じて作文やグループでの話し合いなども取り入れる。 <p>4. 評価方法</p> <p>主に定期考査による。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>【古文】 百人一首和歌 など</p> <p>【漢文】 不死の道 など</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>【古文】 源氏物語 枕草子 大鏡</p> <p>【漢文】 人虎伝 戦国策 長恨歌</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>【古文】 俊頼髓脳 和泉式部日記</p> <p>【漢文】 荘子 十八史略</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>大修館書店『古典B改訂版 古文編』 大修館書店『古典B改訂版 漢文編』</p> <p>副教材・テキストなど：</p> <p>尚文出版『必携 これからの古典文法 改訂版』 尚文出版『必携 新明説漢文』 第一学習社 『カラー版新国語便覧』等</p>			

科目名：国語探究（現代文）	学年：高校3年	単位数：1	担当者名：松岡礼子
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞することができる。 作家の創意を批評することができる。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに獲得した読みの方略を応用し、みずから作品の精読ができる。 同作家の作品群を比べ読むことができる。 作家の創意についてみずからの考えを適切に表現することができる。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 小説「舞姫」は協同学習による音読を通して雅文体への理解を深め作品の鑑賞力を高める。 他の鷗外作品と比べ読むことによって、小説「舞姫」における作家の創意を相対的に明らかにする。 <p>4. 評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 平常点（出席、課題、協同学習への貢献など） 		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 森鷗外「舞姫」 <p>< 2 学期 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 森鷗外作品群 <p>< 3 学期 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 演習 	
<p>使用教科書： 明治書院『精選現代文B』</p> <p>副教材・テキスト等： 大修館書店 『ビジュアルカラー国語便覧』等</p>			

科目名：国語探究（古典）	学年：3年	単位：1	担当者名：河田 良子
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年次の学習の復習と補充を行う。 ・ 限られた時間に読みこなす力をつける。 ・ ここまでに身につけてきた古典的教養を深める。 <p>2. 評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年次に学習したことを発展させた読みができているか。 ・ 古典的教養に基づく読解力が身についたか。 ・ 意欲的に古典に取り組もうとしたか。 <p>3. 授業方法</p> <p>一斉授業を中心に、適宜グループワークを行う</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>定期考査を主とした総合評価</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1学期 ></p> <p>漢文 諸子百家 「鴻門之会」（『史記』）</p> <p>古文 「花山天皇の出家」ほか（『大鏡』）</p> <p>< 2学期 ></p> <p>漢文 「長恨歌」ほか（『白氏文集』）</p> <p>古文 「師の説になづまざること」ほか（『玉勝間』）</p> <p>演習</p> <p>< 3学期 ></p> <p>演習</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>第一学習社『高等学校 古典B』</p> <p>副教材・テキストなど：</p> <p>尚文出版『必携 これからの古典文法』</p> <p>尚文出版『必携 新明説漢文』</p> <p>大修館書店『ビジュアルカラー国語便覧』</p> <p style="text-align: right;">等</p>			

科目名：古典A	学年：3年	単位：2	担当者名：田中寛子
<p>1. 指導目標</p> <p>古典の文章を実践的に読むことを試みる。 従来のように、文法や語彙を個別に学習し、その積み上げとして、長文を読む、あるいは、自由研究を行う、というのではなく、必要に駆られて古典の作品や資料を読み、その読解のために、文法や語彙を手段として用いる、という順で古典の読解力をつけることを目指す。</p> <p>また、作品世界を追体験し実感することで、古典の読解に必須である、古代人の精神を理解する。</p> <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や資料を自ら読み、自ら課題を見つけ、資料を収集し、研究成果として発表することができる。 <p>3. 指導方法</p> <p>演習形式で行う。補講としてフィールドワークを行うこともある。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>レポート、定期考査で行う。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <p>平安後期の漢文体日記、藤原宗忠著『中右記』とその関連資料を読む。特に、天仁二年の熊野参詣の記録の記述を読み、実際に日記に書かれた行路を旅する。日記を読み解くことで、参詣路を解明し、また、漢詩に精通していた宗忠の日記に記される文学的な表現を考察することで、宗忠がどのような気持ちで参詣したのか、古代人の精神を追体験することを試みる。</p> <p><2学期></p> <p>『源氏物語』とその関連資料を読む。作品として享受されてきただけではなく、美術品のモチーフとしても愛されてきた『源氏物語』の世界を、文章と合わせて理解することを試みる。絵画化された『源氏絵』と文学としての『源氏物語』の間には、どのような乖離や創造がみられるのか、検証することを目指す。</p> <p><3学期></p> <p>『和漢朗詠集』を読む。1学期には漢文、2学期には、古文の作品を中心に読んできたことを活かし、古文漢文両方の知識と読解力を生かして読むことを目指す。和歌、漢詩という、少ない言葉で表される言語芸術の世界の探究に挑戦する。</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>第一学習社『高等学校 古典A』等</p> <p>副教材・テキストなど：</p> <p>尚文出版『必携 これからの古典文法 改訂版』 尚文出版『必携 新明説漢文』 大修館書店 『ビジュアルカラー国語便覧』等</p>			

科目名：古典B	学年：3年	単位：2	担当者名：金藤行雄
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年で習得した知識と読解の技術を活かし、難解な文章を読みこなす力をつける。 ・あらすじの理解にとどまらず、文法、語彙などにあらわれている古典文学作品の表現の特色を理解し、作品を鑑賞する。 ・作品の背景にある思想、文化に触れ、現代人との共通点や相違点を見出し、人間の本質を理解しようとする。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典文法、漢文の句法、文法構造、語彙等を理解し、原文に忠実な現代語訳ができているか。 ・展開や、情景、登場人物の心情、表現の特色等を理解し、的確に説明することができるか。 <p>3. 指導方法</p> <p>演習問題による。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>主に定期考査による。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <p>演習問題など</p> <p><2学期></p> <p>センター試験演習など</p> <p><3学期></p> <p>二次試験問題対策など</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>第一学習社『精選 古典B』等</p> <p>副教材・テキストなど：</p> <p>尚文出版『必携 これからの古典文法 改訂版』</p> <p>尚文出版『必携 新明説漢文』</p> <p>大修館書店 『ビジュアルカラー国語便覧』等</p>			